



国立大学法人
豊橋技術科学大学

IT 食 農 だ よ り

発行元：豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター

住所：〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

TEL：0532-44-6655 FAX：0532-81-5108 E-mail：manager@recab.tut.ac.jp

2020年3月15日

No.72



2019年度 東海地域の6次産業化人材育成 第8期生修了式集合写真

「東海地域の6次産業化推進人材育成」第8期生修了式が行われました！

2020年1月31日(金)に「東海地域の6次産業化推進人材育成」第8期生の修了式が豊橋技術科学大学A2棟101講義室にて挙行されました。当日は、井上隆信副学長から修了生14名に修了証書と「6次産業化先導士」の称号が授与されました。この称号は、文部科学省の「職業実践力育成プログラム」(SBP)認定及び本学の履修証明プログラム認定後、初めての修了生としての称号授与となりました。

副学長の式辞後、教室講義及びびらーニングで優秀な成績を修めた藤原孝夫氏に「優秀成績賞」が授与されました。最後に、修了生を代表して、藤原孝夫氏が答辞を述べられました。(文責 山内高弘)

副学長式辞

修了証書を受け取られた皆さんおめでとうございませう。昨年10月から4カ月間のプログラムが無事終了されたことを喜び申し上げます。休日に充てる土曜日が主な講義の日であり、それに参加するというハードなスケジュールだったと思いますが、このプログラムに参加することにより良い経験になり、たくさんのご褒美を得られたのであれば幸いです。

6次産業化のプログラムとしては、皆さまは8期生になりますが、今年度から文部科学省の職業実践力育成プログラムに認定され、6次産業化先導士の称号を授与する本学の履修証明プログラムとなりました。皆様はその第一期生になります。また、このプログラムは、「食の6次産業化プロデューサー」の段位申請も可能なプログラムとして

も運営されています。

このプログラムを運営するにあたりまして本日、田原市様、豊川市様、蒲郡市様にご出席いただきありがとうございます。また、豊橋市様、新城市様、株式会社サイエンスクリエイト様のご協力をいただいております。また、豊橋市様、田原市様からはご支援をいただいております。さらに本事業を推進するにあたりましては、イノチオホールディングス様、サーラコーポレーション様、大仙様、トヨタ様、豊橋信用金庫様、本多電子様などからもご支援をいただいております。この場をおかりいたしまして、感謝申し上げます。

農業を取り巻く環境には、農業者の高齢化、安価な輸入品の増大など厳しいものがありますが、厳しい状況下にあるからこそ、新しい発想のもとに変革ができるチャンスがあると思っています。皆様は6次産業化の先導士として、一歩先んじて果敢にチャレンジしてもらえればと思います。

本学には農学部はありませんが、30周年記念事業の一つとして、先端農業・バイオリサーチセンターを発足させ、農業についても研究や人材育成事業を推進しています。大学の学部や大学院の教育も同じですが、人材育成事業は、修了させて終わりというものではありません。修了生の皆様がこの後如何に社会で活躍されるかが、この事業の評価に直結いたします。幸い、このプログラムは他の人材育成プログラムと合わせまして、修了生の方に



式辞を述べる井上副学長

IT農業ネットワークを形成していただき、現在450名を超える会員の方がおられます。この近くに誕生した道の駅とよはし、田原市の道の駅でも修了生の生産物が販売されています。また、昨年、全国的な番組で取り上げられた修了生もいます。地元の新聞や東海地域のテレビには毎月数名の方が登場しています。これら、修了生の皆様の活躍を聞くことは、我々教員にとつては非常に励みとなります。皆様もこのネットワークの会員になり、研鑽を積み重ね、ご活躍していただければと思います。また、本学の人材育成プログラムの修了生であること、6次産業化先導士であることもあわせて宣伝していただければ幸いに存じます。

修了にあたって、私からあらためてお祝いの言葉を申し上げて、式辞とさせていただきます。本日はおめでとうござい

修了生答辞

本日は、多くの皆様のご臨席のもと、私たち「東海地域の6次産業化推進人材育成事業の第8期生」のために、このように盛大な修了式を開催していただいたこと、心より御礼申し上げます。また、井上隆信副学長より、素晴らしい式辞を賜りましたことに、修了生を代表して重ねてお礼申し上げます。

ふりかえれば、昨年の10月、私たちはそれぞれの思いを持って、「豊橋技術科学大学のキャンパスに集いました。実際に農業を営んでいる方、私はその一人ですが、これから農業を始める方、本業は



答辞を述べる藤原孝夫氏

別に持ちながらも農業に強い関心がある方。バックグラウンドは様々ですが、学びに意欲的な仲間を得て、大変心強く感じました。

このような仲間と共に、農業の6次産業化を体系的に学ぶことで、農業経営における6次産業化の全体像と必要な基本知識を少なからず把握することができました。まずは、事に当たりの柔軟な発想方法を取得する学習や、6次産業化推進講座に学ぶ自らの基本姿勢を確認することから始まりました。その後、農業経営に関する基本理念やマーケティング等の基本概念、食品加工や品質管理の基本知識、金融や行政等の農業支援の内容、ビジネスプランの作成と発表などの教室講座を受講して参りました。また、農業者が6次産業化を推進し成功している先進事例の視察を二度重ねて参りました。さらに、eラーニングにおいて、農業者における6次産業化実践論や新価値創造を目指した商品開発と経営手法、財務会計等の基本知識を学ぶことが出

来ました。

私ども受講生の日々の生業は、農業のみならず多様な分野での会社業務や家業に従事しており、これらと両立しながらの受講や、eラーニングを含めたすべての講座や視察についての課題提出は大変でございましたが、受講生一同無事にやり遂げることができました。これもひとえに、同期の仲間の励みや、指導教員である山内先生、先端農業・バイオリサーチセンターの皆さまのご支援があればこそ賜物であり、ここに改めてお礼を申し上げます。また、このプログラムをご支援いただいている関係者の皆さまにも、このような機会を与えてくださったことに感謝を申し上げます。

これから、一緒に学んだ同期の仲間やIT農業ネットワークの仲間、諸先輩方との親交を深め、必要に応じ連携しながら、学んだことを活かして、力強く愉しく人生を高め、地域や農業の発展に貢献して参りたいと存じます。

最後になりましたが、修了生を代表して、改めて私たちがご支援くださいました主催をはじめ関係者の皆さまに心よりお礼申し上げます。皆さまのご健康と豊橋技術科学大学の更なる発展をお祈りし、答辞とさせていただきます。

2020年1月31日

(東海地域の6次産業化推進人材育成第8期生代表 藤原孝夫)

※「副学長式辞」、「修了生答辞」につきましては、紙面の都合上、一部割愛しております

課題研究発表会を実施 植物工場マネージャー第7期生・IT食農先導士(土地利用型)第3期生

2月29日(土)に、豊橋技術科学大学F2棟903教室において2019年度最先端植物工場マネージャー育成プログラム・IT食農先導士養成プログラムの最先端土地利用型IT農業コースの課題研究発表会が実施されました。受講生が直面している課題を研究課題に設定し、昨年4月から取り組んだ成果を17名の受講生が発表しました。研究内容、スライドの構成、発表方法等について先端農業・バイオリサーチセンターの浴俊彦センター長、山内高弘特任准教授、熊崎忠特任助教の3名が審査した結果、植物工場マネージャー育成プログラムでは渡邊暁氏、IT食農先導士養成プログラムでは岩瀬みどり氏が課題研究優秀賞に選ばれました。

(文責:熊崎 忠)



課題研究発表会を実施
植物工場マネージャー第7期生・
IT食農先導士(土地利用型)第3期生